



片丘



片丘支所 (4月25日)

問有害鳥獣被害対策について、松本市はシカ対策に防護柵を市境まで設置したので、片丘地区の畑にシカが来てしまう心配はある。推定600頭あり、駆除は簡単にできないが対策は。 **答**防護柵の設置は議会からも要望が出たが、コストがかかるなどの理由で市は個体調整の方針である。狩猟担当を3人から4人体制に増員し連絡を受けてすぐに駆除へ出向く体制を取り、また、免許取得補助や駆除の報奨金を増額した。議会も影響や効果について検証していく。 **問**片丘小学校の空き教室を利用しての児童クラブ・児童館設置の推進状況は。 **答**今年度の予算で、1千700万円認められてい

る。全国的に3分の1程度が空き教室に児童館を設置しているとの説明があった。夏休み中に工事をし、トイレを新たに設置してセキュリティを確保する。職員は2名から3名に4月から増員している。教育委員会が今後、地元協力者の公募チラシを作成予定であり、地域の支援もお願いしたい。 **問**介護予防教室が開かれていてもあまり参加意欲が出ない。個人経営のジムは一月の会費が高いが、補助金を出すなどお仕着せでない健康づくりの内容を考えてほしい。 **答**介護保険も値上がりしている。市民がいつまでも元気でいられるように、議会としても行政へ提案していく。 **問**えんぱーく3階の音楽室の音漏れがひどい。もう少し防音できないか。 **答**若い世代からの希望で音楽室を作った。バンドの練習で漏れる音が予想以上だったと聞く。若い世代の中には気にならないという声もあるが、防音や周辺の使い方についての検討を担当者に伝える。

吉田

問郷原街道は交通量が多く危険で、歩道の形状や幅員に問題がある。 **答**危険な県道であり、PTAからも再三安全対策が要望されている。応急的な修理はしているが改良を要望する。西幹線整備の促進を求めていく。 **問**防災倉庫の備蓄品の拡充が必要だが、各区の備品拡充には補助がない。区任せでなく市が主体的に取り組むべきでは。 **答**市設置のものは備品チェックをしている。区が設置したものは、議会としてまだ議論はされていないので、行政が絡んだ対策を研究する。 **問**高齢者世帯の災害対応を民生委員だけでなく、全体に分かるようにしなければ対策が取れない。 **答**個人情報関係で困難な状況を承知している。改善に向け、議会としても取り組んでいく。 **問**学校・地域での防災教育をどのように考えているか。 **答**子ども達の教育は大事で、釜石の教育に学ぶべきと議会でも話が出ている。共助としては、ご近所支え合いマップを考えている。 **問**市内の電力需給と節電の取り組みはどう



吉田地区センター (4月25日)

か。 **答**市役所ではクールビズ等で昨年15%の節電をした。電力需給について中電の見通しに関心を持っている。5%強の余力があると聞いている。万全の対策を組んでいかなければいけない。片丘のSNR跡地への太陽光発電も話だけで進んでいない。議会としても研究したい。 **問**ハザードマップは、ただ出すだけでは意味がない。市の防災倉庫や地震計の増設等、危険な地域には他よりも手厚くしてほしい。地域の連絡会の設置もモデルケースを吉田地区に設けるよう働きかけて欲しい。地域のみ期待されてもできない。ハザードマップは、具体的な防災計画で生かしてほしい。 **答**必要なところに必要な対策を、議会としても市や区長と話し合わなければならぬ。お力添えをお願いしたい。